



# ルーフ広宣 インタビュー

突撃!!

日本は文化芸術を本気で考えて来なかった!

日本を「文化芸術立国」に!!

「日本のミケランジェロ」彫刻家の坂井公明さんをお迎えして5年間続いた私のコーナーの最終回を飾る事になりました。

## 【所蔵・設置作品】

富士美術館

川口市株式会社ニュートロン保養所

東京・世田谷プレスステージ三軒茶屋

東京都中央区立城東小学校正門彫刻

東京都中央区立泰明小学校

泰明幼稚園創立45周年記念レリーフ

東京都豊島区『池袋の森』公園レリーフ

東京都豊島区『目白の森』公園レリーフ

長崎県西海町横瀬浦フロイス公園

『ルイス・フロイス像』

埼玉県川口市朝日環境センター

山口県末延建設(株)モニュメント

JR川口駅ビルキュポ・ラ「伊奈忠治公像」

日本美術家連盟会員

ルーフ…坂井さん、お久しぶりです。

坂井…こちらこそ。ルーフさん、聞く所によると、近々、テレビ出演されるそうですね。

ルーフ…ご存知でしたか。実は先日、日テレの「火曜サプライズ」と言う番組があり、その収録を終えて来たばかりです。

坂井…それはいつ放送されるのですか？

ルーフ…7月中旬頃と聞いています。「都バスで飛ばすぜい！」と言うコーナーの中で京本政樹さんや柳沢慎吾さんらと絡み、マジックをやりました。坂井さん、マ

ジックもお好きでしたか？  
坂井…あのね。6才の時に入院した事があり、その時に同じ病院に入院していた17才位のお兄さんから手品を二つ見せて貰った事がありました、一つは親指を切るマジックと、もう一つは新聞紙に包んだお茶碗がテーブルを叩いた瞬間、消えてしまったマジックでした。子供の頃、ワクワクする夢があったマジックなのに最近は何もかしの本がボロボロ出て来たでしょう？TV番組もそうですよ。僕はあんまり、そういう事をやって貰いたくない。

ルーフ…まあ、それって例えば、女優さんが折角、綺麗な格好しているのに、カツラを取って、化粧を剥し裸にする様なものですかね。

坂井…そう！私生活を暴くようなものですよ。芸術芸能は、やっぱり夢を提供して行く世界ですよ。それから日本は今、本当に大事なものを失ってしまっているんじゃないかと思えますね。私もブロンズ像一つ作るのにも一人じゃ出来なくて、石膏を取

きて正直、夢が湧かなくなりましてよ。



る職人さん、ブロンズに铸造する職人さんが必要です。この職人さん達も高齢化し、今のこんな日本の経済状況では後継者も作れない、でも一流の技術が一度失われたら一つの技術をここに迄にするのに百年はかかります。日本は文化芸術を本気で考えて来なかったから、今の現状があります。日本の工芸技術はもう、絶滅の危機ですね。

ルーフ…本当に切実な問題ですね。今回、坂井さんをお持ち頂いた「新たなグランド・デザイン」と言うパンフレットに文化芸術に関わ

る人々の社会保障などが提案されていますが、詳しく教えて下さい。

坂井…フランスとかはそれが充実しています。日本は文化芸術面では後進国で、このパンフは公明党文化芸術振興会議が発行し、日本を「文化芸術立国」にしようと言う試みです。具体的には芸術やスポーツ等に携わる人々に対し、雇用と社会保障。また、地域での文化芸術振興条例制定の推進、及びアーツポイントの導入など盛り沢山の内容を提言しています。

ルーフ…それは素晴らしいですね！芸術芸能・スポーツなどを職業として

している人々に対して国が認定し、失業した時は雇用保険制度も社会保険制度も利用出来る様に即、やって貰いたい所ですよ。

坂井…本当にその通りですね。

ルーフ…坂井さんは彫刻家になられる為、大変厳しい生活をされたと伺いましたが。

坂井…ええ、親にも反対されましたね、のたれ死に覚悟で福岡から上京し、浮浪者が住む様な所で血糊が付いた部屋に住んでいました。

ルーフ…えっ？血糊と言うのは本当の血痕ですか？

坂井…ええ、人が血まみれで亡くなり、大家さんが手を入れないでいた部屋です。でも安いです。そんな部屋での彫刻活動ですが、モデルは使っていました。モデルさんには、こういう状況だから安くして下さい！と土下座してお願したものです。

ルーフ…うわっ、凄惨な状況ですね。芸術家の執念みたいなものを垣間見た気がします。ご自身の創作意欲はどこから来るのですか？

坂井…それは、ミケランジェロと共に



ロダンが言う「彫刻で人物を作るとは自然を観察すると言う事である」と言うところです。だから私はモデルを使い続けるのですが、人間の存在や生命活動の中に潜む自然の摂理みたいなものを探りながら彫刻しています。生命と言うものが、どうやっ



て肉体に反映されているのか？  
それが彫刻の原点だと思っ  
ています。

ルーフ…やあ、実に奥深い世界ですね。  
現在、日本全国に坂井さんの作  
品が設置されていると伺いまし  
た。代表的なものをご紹介頂け  
ますか？

坂井…東京銀座や東京駅前にありま  
す。それから長崎県の西海市に  
ポルトガル宣教師のフランシ  
スコ・ザビエルの後に来たルイ  
ス・フロイスと言う宣教師の公  
園があり、その入口に立つルイ  
ス・フロイス像が私の作品で

す。当時、織田信長や豊臣秀吉  
とも親交があった人物で「ル  
イス・フロイスの日本史」と  
言う歴史書も残した人物です。  
それから、ジャイアント馬場さ  
んが亡くなられた時に、ご依頼  
が来て、等身大の彫刻を作りま  
した。奥様が製作中に見に来  
られて、身内の思い入れと言  
うのがあったのでしよう、本当は  
こうじゃないと言われて、目  
の前で直したのですが、奥様  
も段々と分からなくなってい  
ました。それでいつ  
も側に居たレフリーを呼んで

来て見て貰ったら「ああ、こ  
のままですよ！」と言われて  
奥様が納得されていましたよ。  
その他、メダルも制作していま  
す。宇宙飛行士の毛利衛さんや  
向井千秋さんのサイン入り公式  
メダル、JRの新幹線メダルとか  
手塚治虫先生の名作シリーズ、  
小松崎茂先生の軍艦シリーズ、  
そして長野オリンピックの記念  
メダルを制作しました。形ある  
物なら、どんな物でも作らせて  
頂きますよ。

は最後にモットーをお聞かせ下  
さい。

坂井…レオナルド・ダヴィンチが言った  
「間断なき飛翔」成長し続ける  
事ですね。マジシャンの方々も  
そうだと思うのですが、常に自  
分の固定観念を打ち破り、自分  
に挑戦し続けると、水が澱ん  
で腐り、鉄が錆びる様な事にな  
ると思います。

ルーフ…実に含蓄深いお言葉です！坂井  
さんの益々のご発展を心よりお  
祈りします。本日は誠に有難う  
ございました。

今回をもって機関誌の最後のページとな

り、この紙面を借りました、今まで大変  
お世話になった編集長のダーク広和さん  
やスタッフの方々、そして読者の皆様に  
心より御礼申し上げます。

「坂井公明さんの作品・経歴」  
<http://www.art-koubacom/sakai/>  
「ペット専用の作品ページ」  
<http://www.art-koubacom/sakai/pet/>

